



チーム嶋村 ガバナー月信

Take Action for Rotary Future. Reach Out for World Peace.

第7号 2023年1月発行



親愛なる会長のみなさん。2023年の幕が上がりました

こんにちは。新しい年を迎えました。今年もよろしくお願ひします。

たいへん残念なお知らせからになります。昨年11月26日、那覇西RC、大庭憲会長が急逝されました。8月3日開催されたガバナー公式訪問では会長テーマ「クラブ活動を活発にする」のとおり、新型コロナウイルス後のV字回復を目指し、活動している姿に接することができました。また、大庭憲会長は以前より青少年奉仕活動に熱心でした。10月23日開催された「世界ポリオデー2580」のために、那覇商業高校IACにてポリオ勉強会を事前に実施するなどしていました。そのような矢先の訃報に、ただ驚くばかりです。生前のご功績を偲び、改めてみなさんと共にご冥福をお祈りいたします。

1. 第50回ロータリー研究会で学んだこと

11月21日、22日、神戸ポートピアホテルで開催された「第51回ロータリー研究会」に出席してきました。ロータリー研究会は佐藤芳郎RI理事（本年度地区大会のRI会長代理）が招集者となり開催され、ジェニファー・ジョーンズRI会長も出席されました。国際ロータリー・ロータリー財団の現況報告やその方針やプログラムに関する正確な情報を提供するとともに、学び、討論して、私たちが指導力を発揮するように励まし、意欲を高めることをその目的としています。また、DEIや若い人たちの考え方を理解するセッションなどもあり、多くの学びの機会になりました。



チーム嶋村 ガバナー月信

特に印象的だったのは最終日に行われたオープンフォーラムで語られた「適応」という言葉です。新型コロナウイルス後の世界は、大きな変化の中にあると思います。それは、ロータリーでも同じで、変化を求められていることは自明の理ではありますが、「変化をしましょう」と促すことより「適応していますか？」と尋ねることが大切であると気づき、学びました。残り6か月、「みなさんのクラブは、地域社会に適応している存在でしょうか？」「クラブの会員構成は現在の時代背景に適応しているでしょうか？」と語りかけていきたいと考えています。

会長のみなさん、自らに「クラブは適応しているだろうか？」と問いかけてみませんか？

2. ガバナー公式訪問 70 クラブ完遂しました

7月14日、東京田無RCからスタートし、12月22日、那覇北RCをラストとして、全70クラブのガバナー公式訪問をすることができました。みなさんに歓迎いただき、おかげさまで体調も崩すことなく無事に完遂できました。すべてのみなさんの友情に感謝申し上げます。同行いただき、事前のクラブ協議会等を開催していただいたガバナー補佐・地区グループ幹事のみなさんの献身的活動に改めて感謝申し上げます。



本年度は、ガバナー公式訪問のスタイルを一新させていただきました。戸惑いもありましたが65クラブで「ガバナー公式訪問フォーラム」を開催していただきました。クラブでの対話（クラブコミュニケーションアップ）こそが、元気なクラブづくりには欠かせないものであると考え、さまざまな形態を考えていただきました。私自身はもちろんですが、会長のみなさんにも良い刺激、気づきの機会になったようです。その理由は、ガバナー公式訪問フォーラムが、会員の声や考え方に触れる機会となったからだと思います。このような経験が、会長のみなさんにとってクラブ運営を前進させる勇気につながれば嬉しいです。これからも「対話から実践」をくり返しながら、元気なクラブづくりに邁進して欲しいと願っています。

また、ガバナー公式訪問の会長幹事懇談会で必ず話題に上がる会員増強についてです。「会員増強はロータリーの永遠の課題」と言われます。それは、組織の維持のための会員増強である面もあります。しかし、ロータリーの目的は「奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」であり、具体的には「ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること」です。そのためには、「奉仕の理念」を会員がよく理解し、奉仕の心を持って活動することで、自らの改善（向上）と共に良い社会をつくることです。すなわち、「ロータリーの目的を拓げるという意味での会員増強の方が大切です」と会長幹事懇談会で強調させていただいてきました。これは、ガバナー公式訪問の最後にお話しをした、ウィリアム・ロビンズ 1974-75 年度 RI 会長の言葉につながります。

「ロータリーの第一の仕事は人を育てること (Rotary's first job is build men)」

「ロータリークラブの真価は、そのクラブがいかほどの金銭を集めたか、いかほどの計画を実践したかではなく、そのクラブがいかなるロータリアンを育てたかである」

ロータリーは、奉仕の心を持つ人、すなわち、素晴らしいロータリアンを育成して、社会を良くします。これこそがロータリーの素晴らしさであると、私は思っています。

3. ロータリー賞の進捗状況を確認してみましょう！

本年度はクラブ活動の目標設定をする「ロータリー賞」を、クラブ運営支援部門の絶大な協力の下、初めて採用させていただきました。現在のところ62クラブがその登録を済ませていただきました。ロータリー賞（ロータリークラブ・セントラル）への登録によりクラブの目標設定とその進捗把握、検証などを行うことができます。次年度の会長のためにも役に立つことです。また、クラブの目標設定とその進捗把握、検証などを行うことは、クラブビジョン・行動計画を策定する際の有効なデータとなります。クラブの活性化の一助になると期待しています。それを確かなものにするために、ロータリー賞の前半6か月間の進捗状況を確認してみましょう！ その上で、後半6か月を考えてみていただきたいです。

次年度会長も決まり、ややもすると次年度モードになりがちですが、本年度はロータリー賞という目標があります。各クラブで設定した目標の再確認と進捗状況の確認に基づいて、理事会やクラブフォーラムでの話し合いを進めることが、元気なクラブづくりにつながるはずです。後半6か月は、会長のみなさんのリーダーシップの見せ所です。一步一步前進を続けて欲しいと願っています。

4. 1月は職業奉仕月間です

私は本年度の地区運営方針の一番目に「ロータリーの奉仕の理念（ideal of service）が確立された歴史を再認識し、ロータリーの未来への可能性に挑戦しましょう」と掲げました。チーム嶋村の職業奉仕部門では、電子ブック版「マンガによる奉仕の理念を未来へ繋ぐ、決議23-34から紐解く奉仕の心」の制作を進めています。

ガバナー公式訪問においても、ロータリーの目的「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」を強調し、「奉仕の理念」とは「他人を思いやり、そして他人のために尽くすこと」と説明させていただきました。奉仕の理念を身の回り生活全般にわたって適用し、実践することを奨励してきました。これからも、「奉仕の理念を携えてロータリー活動に参加しましょう」と、みなさんに語りかけていきたいと思っています。

12月9日に開催された地区職業奉仕セミナーでは、第2770地区元ガバナー補佐の青木伸翁さんから「ロータリー倫理訓」を学ばせていただきました。その中にある「ロータリーの神髄は競争ではなくて協力にある」というお話しに共感しました。元気なクラブづくりには、思いやりの心が大切であると再認識することができました（今月号には「2022年12月9日開催 地区職業奉仕セミナー報告」がございませぬ）。

5. 年度後半でお願いしたいこと「会長の時間への挑戦」

会長のみなさんへのお願いは、「会長の時間への挑戦」です。いくつかのクラブでは会長の時間に注力していただいておりますが、残念ながらその数は少ないようです。例会での会長の時間を充実させることは、ある意味、会長の責務であり、会長にしかできないという意味では、会長の特権ともいえます。

「今日の会長の時間は良かったよ」「元気が出たよ」「ロータリーへの意欲が湧いたよ」。会員からこのような言葉がいただけるような会長の時間をしてみませんか？

本年度のガバナー月信は、会長の時間に使ってもらえるような情報提供をメインに考えて作り上げています。7月号からのアーカイブをもう一度読んで、ロータリーやクラブを眺めてみてはいかがでしょうか？

後半6か月も元気なクラブづくりに邁進しましょう！

私自らも奉仕の理念を携えて、会長のみなさんと共に元気なクラブづくりに尽力します。何か必要なことがあれば、ご遠慮なくお声がけください。

2023年1月1日

国際ロータリー第2580地区ガバナー 嶋村文男

※ガバナーへのメッセージをお待ちしています→ info@motoffice.jp

今月号、チーム嶋村ガバナー月信編集委員会企画記事のご紹介

元気なクラブづくりのための会員増強、参加型奉仕活動の企画・運営の参考情報です。

1. 新企画！ ロータリアンのご紹介 ～東京葛飾 RC の新入会員～ (P.5)
2. あらかわ遊園世界ポリオデーの企画・合意・調整・準備 (P.7)
3. 2022-23年度上半期の入会者情報のまとめ (P.17)

新企画！ ロータリアンのご紹介 ～東京葛飾 RC の新入会員～ 文書構成：チーム嶋村ガバナー月信編集委員会

元気なクラブづくりや会員増強などの役に立つ情報の一つとして、ロータリアンのご紹介をします。

今回ご紹介するのは、東京葛飾 RC の宮崎晶子（みやざきまさこ）さんです。2022年7月、29歳で入会されました。東京葛飾 RC にとっては初めての女性会員です。

どのような経緯で入会されたか、また、入会の際、どのような対応だったかなどについてメールで質問し、回答をいただきました。

Q1: どのような会社を経営されていますか？

アルパ企画株式会社（2021年6月設立。新小岩駅の近く）の経営をしています。モノ・ヒト・サービスの拡販に向けた企画立案から運営まで行う広告業をしています。



Q2: ロータリークラブになぜ入会しようと思ったのでしょうか？

これまで広告代理店に勤めていた際は都心で仕事することが多く、いつか生まれ育った地元に戻元できるような取組みをしたいと思うようになりました。そのためには地元のさまざまな年代の方と交流できる場に参加したいと思うようになり、ネットで調べたところ、東京葛飾 RC のことを知りました。

Q3: 入会するためにロータリークラブに連絡してみて、どのような対応でしたでしょうか？

紹介者がいないため、ダメもとで東京葛飾 RC サイトの問い合わせ窓口にメールした記憶があります。その際に事務局の植村さんからすぐにご返信をいただくとともに、例会のご案内をいただきました。メールでのやり取りでしたが、文面からもお人柄の良さを感じ、例会に出席したいと思いました。緊急事態宣言などで延期もあり例会が延びてしまい、3か月ほど空いての参加でしたが、みなさんが明るく歓迎してくださり、とても雰囲気の良い会だなと感じ、すぐに入会を決めました。

Q4: ロータリークラブに入会してみて、その後いかがでしょうか？

入会後に、東京葛飾 RC では女性が初めての入会だということを知りました。驚きと同時にみなさん、暖かく歓迎して下さったことに嬉しく思いました。例会では、みなさん気さくで何気ない会話を楽しませていただいております。これまでの先輩方が築き上げてきた東京葛飾 RC に恥じぬように、私なりに貢献して参ります。

クラブからのロータリー活動の情報提供

新宿区立小学1年生の花の絵の作品展

執筆：東京新宿ロータリークラブ 青少年奉仕委員長 安藤真一

東京新宿ロータリークラブでは、2004-05 年度から新宿区立小学1年生に花の種をプレゼントし、2014-15 年度から児童が種を蒔き、水をやり育てて、花を咲かせてきました。さらに、その花の絵を描いてもらい、本年度で9回目となる作品展を、10月1日から28日まで例会場であるハイアットリージェンシー 東京のギャラリーで開催しました。1年生ならではの目線でとらえた花の絵は、どの作品もとても素晴らしいです。本年度は4校の作品展応募があり、毎週例会後に会員で入替えをして展示しました。



10月21日(金)のガバナー公式訪問には、嶋村文男ガバナーにも入替作業をお手伝いいただきました。ホテルのギャラリーはオープンスペースなので、先生、児童、保護者が時間に関わらず鑑賞することができると好評でした。また、各校必ず土曜日・日曜日の入る展示とし、児童が保護者と一緒に鑑賞できるスケジュールとしました。

作品展の開催後、作品を直接各小学校へ、参加賞と会員が撮った1作品ごとの写真とともに返却しに行き、校長、副校長先生へ御礼を述べさせていただきました。ロータリークラブについての説明、また当クラブが別途開催している「新宿区小中学生俳句コンクール」のご案内もさせていただきました。

武蔵野市内一斉清掃（駅周辺）に参加

執筆：東京武蔵野ロータリークラブ

11月27日、武蔵野市主催で吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅の駅周辺一斉清掃が行われました。東京武蔵野ロータリークラブは、吉祥寺駅周辺の清掃に参加しました。午前9時、松下玲子武蔵野市長のあいさつから始まり、晴天に恵まれ1時間ほどの作業で終了できました。当クラブからは、会長、幹事を含めて7名の会員が参加し、米山奨学生のアガさん、青少年交換派遣予定学生の長澤果蓮さん、会員ご令嬢の大山真凜さんも参加してくれました。二人一組になり、トンゴとゴミ袋を持ち、一人は燃えるゴミ、もう一人は燃えないゴミを拾い集めて回りました。空き缶、空き瓶、タバコの吸い殻、プラスチック、お菓子などの包装紙、傘など想像よりもゴミは多く、清掃活動に参加した意義がありました。普段の例会で話す機会がありそうでなかった会員同士が親しく話す機会ともなり、また、武蔵野大学中学校・高等学校の高校生、中学生の二人は学年が異なっても仲良くゴミ拾いをする事ができて、思いがけず良い時間を過ごせたようです。



あらかわ遊園世界ポリオデーの企画・合意・調整・準備

執筆：東京荒川ロータリークラブ あらかわ遊園世界ポリオデー実行委員長 石川幸男

参加型奉仕活動、地域連携活動の企画、運営などを行う際の参考になる情報を提供します。

10月23日（日）、東京荒川RC主催の「あらかわ遊園世界ポリオデー」が開催されました。子ども向けの遊園地「あらかわ遊園」は荒川区の施設です。都電荒川線の駅から「あらかわ遊園」までは遊歩道があります。ステージでの「ポリオ根絶」のレセプションの後、「ポリオ根絶」の横断幕が先導し、地元中学校のブラスバンド部によるマーチングバンドが続き、ポリオ根絶のパレードを行いました。その後、地元の小学生とロータリアンと一緒に募金活動を行いました。また、荒川区の保健所、警察署、消防署などのブースもありました。模擬店も数多く出店し、焼肉丼や焼きそば、フランクフルト、発酵ジンジャーエールなどが販売されていました。この売上げの15%もポリオ根絶のための寄付になります。



質問1：クラブにおいてどのように合意を得ましたか？

年度が始まる前から、被選理事会にて事前に次年度の地区推奨事業として、ポリオデー及びアースデイの概要を説明しました。

5月、まだ詳細が決まっていませんでしたが、荒川区教育長に挨拶に行った際、東京荒川ロータリークラブの事業として、ポリオデー及びアースデイを検討している旨を説明しました。その際、教育長よりあらかわ遊園でライトアップができることを教えていただきました。その後、荒川区保健所のコロナ対策部長をご紹介いただきました。

6月の理事役員会でこのことを報告したところ、あらかわ遊園で募金活動をしましょうということになりました。

質問2：荒川区役所、あらかわ遊園との調整はどのように行いましたか？

荒川区副区長を訪問し、東京荒川ロータリークラブの奉仕活動として、ポリオデーをあらかわ遊園で検討している旨と環境活動として荒川区と一緒に何かできないか検討している旨をお伝えしました。ポリオデーについて、あらかわ遊園担当部長、教育部長へ連絡していただきました。その後、あらかわ遊園担当部長、教育部長、保健所担当部長等との会合を持ち、各部署よりどのようなことができるかをご提案していただきました。

それらのご提案に基づいて、理事役員会で方向性を決めました。速やかに実行委員会を立ち上げ、タイムスケジュール及び担当を決め、活動を開始しました。

質問3：街頭募金にご協力いただいた小学校等への打診・調整はどのように行いましたか？

あらかわ遊園近辺の小中学校へは、教育部長より連絡していただきました。また、街頭募金への参加については、木崎重安ガバナー補佐（東京荒川ロータリークラブ）が、荒川区立尾久西小学校の校長と懇意

チーム嶋村 ガバナー月信

にしていたため、声がけしていただきました。

街頭募金を行う小学生への事前レクチャーは、東京荒川ロータリークラブでは行いませんでしたが、当日、荒川区青少年委員のみなさまにクイズラリーをお願いしました。その際、感染症やポリオについてクイズ形式で説明しました。多くの小学生に参加していただきました。



質問4：企画・合意・調整・準備のスケジュールを教えてくださいませんか？

次のとおりです。

5月：被選理事役員会で概要説明

6月：理事役員会でポリオデー開催の決定

7月：理事役員会でポリオデー内容の検討開始

8月：理事役員会で実行委員会の運営開始、スケジュール及び担当者決定、チラシ、ポスターの作成、販促品の決定と注文、

警察署、消防署とのお打ち合わせ、関連団体及び中学校吹奏楽部のパレード参加協力依頼

9月：荒川区保健所、あらかわ遊園と詳細検討、学校、町会等への連絡、チラシ、ポスター配布

警察署、消防署とのお打ち合わせ、舞台、テント及び横断幕、幟等の配置検討、開会式及び当日のタイムテーブルの決定

質問5：クラブ内の役割分担はどのようにしましたか？

クラブ内の調整は会長が行いました。また、実行委員長（全体掌握）、実行副委員長（全体調整）の下、次のグループに分かれて行いました。

企画グループ（荒川区役所・あらかわ遊園・荒川区保健所などの依頼、企画書作成など）

総務グループ（進捗管理、当日受付・司会、募金活動対応、チラシ配布、町会対応など）

広報グループ（区報掲載、プレスリリース、マスコミ対応など）

運営グループ（会場設営、ポスター・チラシのデザイン・印刷、ウォークラリー運営など）

渉外グループ（警察署・消防署対応、パレード対応、他クラブ調整、保険加入手続きなど）

会計グループ（金銭管理、募金管理など）

当日の運営は会員20名、募金の管理は会計グループの会員5名で行いました。

質問5：広報はどのように行いましたか？

次のとおりです。

町会へのチラシ：荒川区保健所が窓口となり、荒川区経済産業課より配布。

ポスター：あらかわ遊園が窓口となり、荒川区役所及び関連施設に配布。

区報：荒川区保健所が窓口となり掲載。

マスコミ：広報グループより連絡（当日の東京新聞朝刊に掲載）。

質問6：他クラブに伝えておきたいことはありますか？

- ・計画を決定してから開催までの時間がたいへん短かったため、ボーイスカウト、ガールスカウト、商店街連合会など参加できない団体がありました。参加依頼を考えると、前年度理事役員会で検討を開始できていれば、もっと多くの団体にご参加いただけたと思います。
- ・東京荒川ロータリークラブのメンバーが、今回の参加型奉仕活動を行うにあたり、スピーディに動いたことで開催することができました。しかし、行政から「次からはもっと早く連絡してほしい」と報告がありました。また、「今年大成功したので、来年も開催したらどうか」との連絡もいただいております。
- ・荒川区議会議員による事前の根回しも行っております。
- ・舞台・会場設営担当、販促用品担当の会社や、あらかわ遊園のある町会の役員、地元の警察署、消防署の地区会長が東京荒川ロータリークラブの会員であったこともスムーズに進行できた要因の一つだと思います。
- ・東京荒川ロータリークラブは、ロータリーの友を荒川区役所各部長に手渡しで配布していたため、荒川区役所のロータリークラブへの協力体制ができたと思います。



2022年12月9日開催 地区職業奉仕セミナー報告

執筆：地区職業奉仕部門 部門長 藤掛靖元

12月9日（金）、主婦会館プラザエフ（四谷）にて地区職業奉仕セミナーが開催されました。今回のセミナーは、職業奉仕の原点である「奉仕の理念」が確立された歴史を再認識、これを未来へ繋ぐ」をテーマとしました。各クラブの職業奉仕委員長のみなさんに卓話をしていただくための職業奉仕卓話資料の具体的な活用方法と、まもなく完成予定の電子ブック版

「マンガによる奉仕の理念を未来へ繋ぐ、決議 23-34 から紐解く奉仕の心」の紹介を行いました。また、地区研修協議会の部門別研修で講演をされた青木伸翁地区職業奉仕部門アドバイザーによる「ロータリー倫理訓」の講話を開催しました。多くのロータリアンはロータリーの活動は親睦を基とした奉仕活動とされているのではないのでしょうか。間違えではないですが大切なことはロータリーには世界に誇れる「奉仕の理念」があります。事業活動や奉仕活動のすべてにこの「奉仕の理念」を実践することを忘れてはなりません。各クラブの職業奉仕委員長のみなさんには、「奉仕の理念」が確立された歴史の再認識と併せて、ロータリーの在り方、奉仕の実践の在り方を説いた決議 23-34 をまずはご自身が学び、次にこれを他に伝えていくことを提案しております。その支援ツールが職業奉仕卓話資料と電子ブックです。この二つを大いに活用していただきたいです。また、このセミナーでの学びをクラブに持ち帰り、フォーラムやディスカッションの場をお作りいただくことのご提案もしました。ぜひ実行していただきたいです。そのために職業奉仕卓話資料原稿とパワーポイントはもちろんです。当日の講話での資料と地区職業奉仕セミナーの録画をユーチューブにアップしました。当日ご参加できなかった方だけでなく、会員のみなさんに共有し活用していただきたいです。



「Imagine Rotary ワークショップ ～環境～」報告

執筆：地区ロータリー財団部門 部門長 吉田弘和

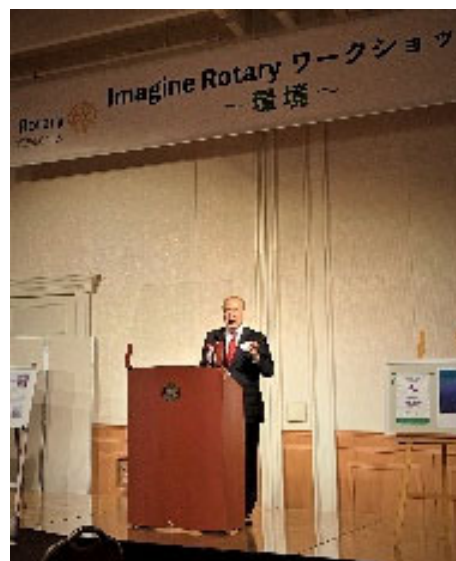
12月3日（土）、タワーホール船堀及びZoomのハイブリッド形式で、「Imagine Rotary ワークショップ ～環境～」を地区公共イメージ部門、地区社会奉仕部門、地区ロータリー財団部門の共同で開催しました。3つの部門が連携した初めてのワークショップでした。

前年度から「環境」がロータリーの7番目の「重点分野」として新たに加わったわけですが、当地区としては初めて真正面からこの「環境」を包括的に取り上げる半日となりました。環境分野では日本の技術も世界をリードできる大きな可能性を秘めているという思いの下、分かりやすい事例として国立大学法人神戸大学、長廣剛教授に基調講演をお願いしました。「四季をもつ日本人の感性だからできる世界最先端の取り組み ～目からウロコの脱炭素空調技術～」と題し、センサーのデータとAI技術により無駄を排除し、より快適な制御により省エネ・脱炭素化を目指す世界最先端の空調技術の取組みを解説いただきました。単なる技術だけではなく、人の感性にも着眼した発想の転換に触れ、多くの視聴者になるほどと感嘆したようです。

海外のロータリーでの環境プロジェクトの先行事例では、地域社会のニーズや実情の測定・モニタリングを徹底し、環境技術や事業パートナーを取り込むことでプロジェクトの継続可能性を高める状況を確認しました。その実現のためにはプロジェクトを実施・統括するロータリアンのトレーニングが必要であることも共有しました。

「環境」問題は何が真の原因でどれが有効な解決手段なのか、それすら明確にならないことも多く、ロータリーのなかでもまだまだ手探りの状況です。そういう中でも各地で個々の取組みは進んでおり、当地区でもその具体例として、東京浅草中央RCが毎年実施している「フラフェス in 浅草神社」での清掃活動、ローターアクトクラブの環境保全奉仕活動を報告しました。また、2023年4月のアースデイに向け、「ぶっく・デ・アース」事業を紹介しました。将来に向けた具体的な「環境」戦略を打ち立てるにはまだまだ学ぶべきことが多々ありますが、今回のワークショップではその方向性を示せたものと考えています。当日は沖縄のZoom参加者も含め100名を超える方々にご参加いただき、テーブルディスカッションにてそれぞれ「環境」を語り、掘り下げていただいたことに大きな意義があったと感じています。また、第2750地区からもご参加いただき、「環境」が世界規模で取り組むべき課題であるとの共通認識のもと、隣の地区同士で「環境」分野で連携していこうと双方の意向を語りました。

今後は、ロータリー環境持続アクショングループから幅広く成功事例を学びつつ、地区として環境分野の取組みを発展させることを願ってやみません。



チーム嶋村 ガバナー月信

チームアップ望年会「8部門長による下半期計画発表」

2022年12月13日、椿山荘にて、チームアップ望年会が開催されました。その際に、「8部門長による下半期計画発表」が行われましたので、会長のみなさまに下記のとおりお知らせします（写真は当日出席された方のみとなります）。

MY ROTRY の活用方法と4つのF賞エントリー案内 地区クラブ運営支援部門 部門長 高橋博文

クラブ奉仕委員会が担当する、ロータリー賞についてはエントリークラブが63クラブまで達成したものの、MY ROTRY 100%登録達成クラブは2クラブに留まる状況。各クラブの登録率につきましても数パーセントずつ上昇と伸び悩んでいる状況の対策として、地区のYouTubeチャンネルのご協力をいただきながら、実際に役立つMY ROTRYの活用法を各クラブのみなさんにお届けする方向でクラブ運営を支援する一助としたいです。

4月30日にメ切となる「4つのF賞のエントリー」をGoogle Foamにて行うことから、各クラブ宛のエントリーのアナウンス及びフォローを行います。

チーム嶋村年度末6月27日(火)に行われるIMAGINE ROTARY PARTYを大いに盛り上げる準備を重ねます。

また、ICT委員会による「ハイブリット例会見学・クラブキャッシュレス化への見学会」も開催します。



職業奉仕の卓話によるディスカッションの場と電子ブックの活用 地区職業奉仕部門 部門長 藤掛靖元

下半期の事業活動は上半期の活動の検証とそれを今後につなげることを主眼としております。本年度のテーマの中心は「奉仕の理念」(The ideal of service)です。各クラブの会長、職業奉仕委員長のみなさんに、事業活動はもちろん、ロータリーの奉仕活動すべては「奉仕の理念」を基に行われる、「奉仕の理念」の実践であることをしっかりと認識していただき、会員のみなさんに伝えていただくことを提唱しております。その支援ツールとして各クラブの職業奉仕委員長のみなさんに卓話をしていただくための職業奉仕卓話資料と地区のホームページにアップする電子ブック「マンガによる奉仕の理念を未来へ繋ぐ、決議23-34から紐解く奉仕の心」をご用意しました。卓話を通し、フォーラムやディスカッションの場をお作りいただきたいと思います。これを如何に活用しどのような成果があったかをアンケートさせていただきます。また、電子ブックについて、ガバナー補佐のみなさまのご協力により、各分区の合同例会にて発信させていただきます。



他クラブの奉仕活動を体験していただく 地区社会奉仕部門 部門長 相澤愛

本年度の地区社会奉仕部門のキーワードは「参加型奉仕活動」です。これまで自クラブだけで完結しがちだった奉仕活動を、クラブの枠を超えて展開することでより多くの効果が生まれます。地区社会奉仕部門では、上半期に引き続き下半期も、この「参加型奉仕活動」の意義を、1人でも多くのロータリアンに伝達し、理解してもらい、1つでも良いので他クラブの参加型奉仕活動を体験していただくための活動を継続します。

具体的には、①各クラブに Google フォームによる奉仕活動の「事前登録」と「事後登録」を依頼し情報を収集する、②毎月の「社会奉仕部門通信」の発行を通じて各ロータリアンに情報を伝達する、③地区サイトにアーカイブとして奉仕活動の事例を集積することを実践していきます。

また、当地区の継続事業である「高校生の就業体験事業（高校への講師派遣）」についても、現時点では具体的な講師派遣の要請はありませんが、今後、要請があれば随時対応をしていく予定です。



グローバル補助金、インド NID ツアー、メルボルン国際大会 地区国際奉仕部門 部門長 林克昌

本年度下半期の地区国際奉仕部門の活動は次のとおりです。①グローバル補助金を利用した国際奉仕について、その国際奉仕プロジェクトの見付け方、パートナーの探し方、そしてグローバル補助金へのアクセスについてのご紹介を引続き進めます。②END Polio の達成に向けた活動として、当地区のロータリアンのみなさんに、第 2750 地区主催の 2023 年初頭に開催されるインド NID（全国一斉ポリオワクチン投与日）ツアーのご案内と参加者の募集、ツアーの実施を進めます。③国際大会参加推進委員会と協力し、当地区のロータリアンのみなさんに、2023 年 5 月 27 日～31 日、メルボルンで開催される国際大会の情報提供を行います。具体的にはガバナーナイトへ登録のための情報、そして当地区のロータリアンのみなさんにご興味ありそうな分科会・セミナーの情報等です。

青少年奉仕のクロスプロモーション 地区青少年奉仕部門 部門長 比留間孝司

地区青少年奉仕部門の下半期主要事業は以下のとおりになります。

①インターアクターと青少年交換留学生との交流事業（ジャパンツアー参加など）

②2023 年 2 月 23 日～26 日、第 3 回 RYLA セミナーの開催（やんばる学びの森）



チーム嶋村 ガバナー月信

③2023年3月5日（日）、Rotary Future フェスタ（タワーホール船堀）

2022年9月に開催されたロータリーファミリー参加型の地区大会から約半年。改めてロータリアンとロータリーファミリーが時間と空間を共有し、未来を描く企画とします（主管は地区学友フェローズ委員会になります）。

第一部：オープンフォーラム「多様性から未来をひらく」

第二部：「語ろう！ 私たちの多様性・公平さ・インクルージョン（DEI）」

ゲストに小原プラスさん（テレビコメンテーター）、一ノ瀬メイさん（パラリンピアン・モデル）を迎えます。第一部では地域の高校生も招いて、トーク、ディスカッション、活動報告など盛りだくさんで未来を考えます。

地区補助金、ロータリー財団奨学生、国際奉仕事業サポート 地区ロータリー財団部門 部門長 吉田弘和

地区ロータリー財団部門の下半期計画は以下のとおりになります。

①地区補助金の申請受付・審査

12月3日開催の補助金活用セミナーを受け、2月末まで申請受付。3月中目途に審査終了を目指します。担当は地区補助金委員会です。

②ロータリー財団奨学生の選定

1月末日まで応募受付、2月中に書類審査、面談を実施します。担当は地区補助金委員会です。

③国際奉仕事業のサポート

事業構築の支援、地区補助金審査、申請のサポートを行います。地区国際奉仕部門と連携します。また、環境分野での研究継続、ロータリー環境持続アクショングループへの参画を目指します。

④ロータリー平和フェロシップ委員会による「日本文化交流会」

平和フェローに日本文化に親しんでもらうことを目的として6地区が合同で行っている年次定例の行事です。本年度の幹事は第2790地区です。2023年5月20日、国技館にて開催予定です。

オープン型の米山奨学生の期間終了式 地区米山奨学部門 部門長 猪飼昭彦

2023年3月4日、米山奨学生の期間終了式をオープン型で開催します。会場は、池袋にある自由学園明日館です。交流の機会とします。期間終了式はとても良い雰囲気、感動的な場面があります。本年度、米山奨学生を受け入れていないクラブのみなさんにもご参加していただき、米山奨学生の良い場面を見ていただきたいと思います。式典で人のお話を聞くだけではなく、人との関り、交流をつくっていただきたいと思います。ぜひ、ご参加よろしくお願ひします。



アースデイと、ぶっく・デ・アース 地区公共イメージ部門 部門長 新城恵子

地区公共イメージ部門の下半期の役割は、ユネスコが提起しました「地球環境を考えるアースデイ」と協働し、世界で環境に取り組むと決めたロータリーの使命（環境はロータリーの7つ目の重点分野です）と、各クラブが立案・行動する脱炭素社会への取組みをクラブの内外に伝えることです。

具体的には、家庭や職場で不要になった古本売却で資金調達し（100冊で2,000円前後を想定しています）、クラブで決めた場所に樹木や草花の植栽を行う「ぶっく・デ・アース」の実践です。古本売却のためのダンボールはご準備いただきますが、宅配便の無料発送伝票をお使いいただくことができます。注意点は、買い取れない本の事前チェックです。

環境は裾野が広い分野です。持続性や計測性を考慮すると、地区補助金の活用や他団体・行政との協働でインパクトを高めることもできます。

また、地区広報委員会は、3月、SNSによる情報拡散セミナーを開催します。みなさんのご協力でロータリーの拡散体制が構築されれば、小さな発信が大きな一歩になります。よろしくお願いいたします。



入会者情報 ～クラブにおける会員増強のためのヒント・アイデアを提供します～

1. 情報収集の時期

2022年11月16日から12月15日まで（なお、入会日は9月13日から12月3日まで）

2. 入会者数（任意の提供ですので、実際の人数とは合致していないと存じます）

7名

3. 入会者の年齢層（小数点第2位切捨て）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	0	1	2	2	1	1
割合	0%	14.2%	28.5%	28.5%	14.2%	14.2%

※最年少38歳、最年長71歳

4. 入会者の性別（小数点第2位切捨て）

	男性	女性
人数	7	0
割合	100%	0%

5. 職業

食料品販売、銀行—普通銀行、弁護士、百貨店、金融・証券、造園、生命保険

6. 紹介者との関係

取引先（3名）、取引先・卓話者、職場の同僚、親戚、他クラブからの紹介

7. クラブ別の入会者数（クラブ名、一部省略）

東京（2名）、東京北（2名）、東京王子（1名）、東京江戸川中央（1名）、東京福生（1名）、以上5クラブから回答

8. 特記事項

- ・東京王子 RC の新入会員（弁護士）は、会員の取引先ということで例会にて卓話を行っていただき、これにより東京王子 RC を気に入っていただき入会されたとのことです。
- ・東京福生 RC の新入会員（生命保険）は、他クラブの過去会長が同業のその方を担当エリアが多摩分区周辺ということで東京福生 RC へご紹介いただいたとのことです。

ご協力いただきましたクラブのみなさま、入会者情報をご提供いただき、誠にありがとうございました。

チーム嶋村 ガバナー月信

2022-23 年度上半期の入会者情報のまとめ

クラブにおいて会員増強のお話し合いをする際の参考資料していただければと存じます。

「職業」「紹介者との関係」はお話し合いのキーワードになるかもしれません。

まとめコメント：

- ① 入会者の多い年齢層としては、40代・50代になっています。
- ② 入会者の多い職業は、不動産仲介（6名）、弁護士（5名）、生命保険（4名）となります。
職業カテゴリーとして分類すると、士業（12名）が最も多くなります。ついで、建設業関連（9名）となります。
- ③ 入会者との関係で多いのは、友人・知人（24名）、取引先・仕事上のおつきあい（20名）となります。
法人会など他団体のつながり（8名）、青年会議所のつながり（6名）、地域関係者・町内会（6名）も多くなっています。

1. 情報収集の時期

2022年7月1日から12月15日まで（なお、入会日は7月1日から12月3日まで）

2. 入会者数（任意の提供ですので、実際の人数とは合致していないと存じます）

106名

3. 入会者の年齢層（小数点第2位切捨て）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	1	15	34	38	12	6
割合	0.9%	14.1%	32.0%	35.8%	11.3%	5.6%

※最年少29歳、最年長82歳（いずれも入会当時の年齢）

4. 入会者の性別（小数点第2位切捨て）

	男性	女性
人数	94	12
割合	88.6%	11.3%

5. 職業

入会者の多い職業は次のとおりです。

不動産仲介（6名）

弁護士（5名）

生命保険（4名）

職業カテゴリーとして分類すると、次のとおりです。

士業（12名）

建設業関連（9名）

不動産業関連（9名）

食品・酒類販売関連（6名）

生命保険・損害保険関連（6名）

製造業関連（6名）

金融機関関連（6名）

IT・情報サービス関連（6名）

上記のほか、飲食店関連、医療・介護・福祉関連、環境・産廃収集運搬・資源再生関連、商社・卸売関連、教育関連、観光関連、運送関連などがありました。

6. 紹介者との関係

入会者の多い関係は次のとおりです。

友人・知人（24名）

取引先・仕事上のおつきあい（20名）

前任者の後任（10名）

法人会など他団体のつながり（8名）

地域関係者・町内会（6名）

青年会議所のつながり（6名）

趣味のつながり（6名）

大学や地元の後輩（5名）

また、亡くなられた会員のご家族の入会（3名）、他クラブ・他クラブ会員の紹介（3名）、解散したクラブからの入会（1名）、元会員の再入会（2名）もありました。

なお、その他の関係は次のとおりです。同系列会社、会社の顧問、同業者、青少年奉仕・PTA 活動、クラブのサイトを見て、共通の知人がいたため、保険の担当者、職場の同僚、親戚。

7. クラブ別の入会者数（クラブ名、一部省略）

入会者の多いクラブは、東京リバーサイド（7名）、那覇南（7名）、東京（6名）、東京浅草（6名）、東京江戸川中央（6名）、東京紀尾井町（5名）となっています。

分区ごとでは、中央分区（33名）、北分区（21名）、東分区（17名）、武蔵野分区（3名）、多摩分区（9名）、沖縄分区（23名）となっています。

2022-23 年度上半期、38 クラブにご回答をいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

8回	小澤 秀瑛 (東京青梅)	
4回	荒井 知久 (東京江戸川)	
3回	小峰 博昭 (東京青梅)	
2回	木村 敬道 (東京本郷)	多賀 之雄 (東京江戸川)
1回	今 学 (東京青梅)	

ロータリー財団ポール・ハリス・フェロー

渡辺 和久 (東京お茶の水)	川島 成介 (東京青梅)
林 秀一 (那覇南)	

米山功労者・メジャードナー

15回	竹内 渥躬 (東京荒川)
14回	荒川 和幸 (東京麴町)
12回	宮代 昌三 (東京池袋豊島東)
11回	安 昌寿 (東京北)
10回	横山 巖 (東京江戸川)

米山功労者・マルチプル

7回	伊部 幸顕 (東京)	
6回	高田 秀寿 (東京荒川)	
5回	榎本 孝之 (東京練馬西)	薬師寺 啓子 (東京王子)
	石川 幸男 (東京荒川)	
4回	岡部 安治 (東京新宿)	

米山功労者

野原 弘輔 (東京)	千本 倅生 (東京)
山口 利昭 (東京荒川)	大城 純市 (那覇西)

11月30日分まで 敬称略、順不同

心よりお悔やみ申し上げます

渡邊 政一 (わたなべ まさかず) 会員

東京葛飾東ロータリークラブ

ご逝去日：2022年11月12日 享年93

入会日：1972年11月15日 (退会：1990年7月18日、再入会：1992年7月1日)

不動産コンサルタント

ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ロータリー財団ベネファクター、米山功労者

編集： 国際ロータリー第2580地区 ガバナー月信編集委員会

ガバナー月信へのお問い合わせ/コメント： info@motoffice.jp

チーム嶋村 ガバナー月信